

健康より大切なもの

シリーズ～福音の力～

2020/09/13

ルカによる福音書17章11～19節

イエスはエルサレムへ上る途中、サマリアとガリラヤの間を通られた。ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え、遠くの方に立ち止まったまま、声を張り上げて、「イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください」と言った。イエスは重い皮膚病を患っている人たちを見て、「祭司たちのところに行って、体を見せなさい」と言われた。彼らは、そこへ行く途中で清くされた。

その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た。そして、イエスの足もとにひれ伏して感謝した。この人はサマリア人だった。そこで、イエスは言われた。「清くされたのは十人ではなかったか。ほかの九人はどこにいるのか。この外国人のほかに、神を賛美するために戻って来た者はいないのか。」それから、イエスはその人に言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」

「重い皮膚病」

- 「重い皮膚病」について

- かつては「ライ病（ハンセン氏病）」と訳されていた
- 1873年に病原菌が発見された＞それより以前の皮膚病については特定できない

- 「重い皮膚病」に罹患すると

- 不治の病だと思われていた＞肉体的死
- 一般人の接触が禁じられた＞社会的死
- 神を礼拝することが禁じられた＞霊的死
- 万が一回復した場合、祭司のところへ行き、特別な儀式を行って「清められたこと」を宣言してもらう

イエス様に助けを求めた10人

- 村はずれに住んでいた皮膚病患者

- 「ある村に入ると、重い皮膚病を患っている十人の人が出迎え」>その村の近くに住んでいたのか？

- 大声で助けを求めた彼ら

- 彼らもイエス様の噂を耳にしていた
- 「声を張り上げて、『イエスさま、先生、どうか、わたしたちを憐れんでください』と言った。」
 - ・「憐れんで」はへりくだった頼み方
- 近づくことは許されないが思いを届けたい一心で

癒やされた10人

● イエス様の意外な命令

- 「祭司たちのところに行って、体を見せなさい」
- まだ何も起こっていないのに、「完治証明？」をもらいに行け、と言われた
- 彼らに**信仰のチャレンジ**を与えられた
- 神様との関係が回復されるために

● 癒やされた10人

- おそらく議論になっただろうが、意を決してみんな
で歩き始めた
- 歩いている途中、みるみる癒やされた！
- **イエス様の言葉を信じて従ったことで癒やされた**

イエス様の所へ戻ってきた1人

- 10人のうち1人だけが戻ってきた
 - 「その中の一人は、自分がいやされたのを知って、大声で神を賛美しながら戻って来た」
 - 不治の病を癒やしていただいたのだから、お礼を言うのは当然
- 嘆かれたイエス様
 - 「清くされたのは十人ではなかったか。ほかの九人はどこにいるのか。」> どこへ行ったのだろうか？
- 戻ってきたのはサマリア人だった！
 - ユダヤ人からは異邦人以上に嫌われていた
 - 「この外国人のほかに、神を賛美するために戻って来た者はいないのか。」

このサマリア人について

- サマリア人とユダヤ人は一緒に暮らさない
 - それなのにこの人はユダヤ人と一緒にいた
- 「重い皮膚病」にかかり、サマリア人のコミュニティからも追い出され、ユダヤ人の「死の谷」に身を寄せていた
 - さぞかし肩身の狭い思いをしていただろう
- 神の恵みが自分にも及んだことを知って誰よりもイエス様への感謝が溢れたのではないか？

健康より大切なもの

- 不治の病に苦しんでいた10人
 - イエス様に助けを求めた
- イエス様は信仰のチャレンジを与えられた
 - 癒やしの次の段階へのヒントも
- イエス様の言葉に従い**健康を回復した**
 - 御利益？があった
- 神を賛美するために戻ってきたのは1人
 - 大切なもの気づいたのは誰よりも苦しんでいた人
- 神への信仰こそ健康より大切である
 - 「立ち上がって、行きなさい。**あなたの信仰**があなたを救った。」